

第149期 (2020年12月15日)	
基準価額	2,525円
純資産総額	19,816百万円
第144期～第149期 (2020年6月16日～2020年12月15日)	
騰落率	3.6%
分配金合計	90円

※騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記の弊社ホームページを開き「ファンド」より当ファンドの名称を選択いただき、さらに「運用報告書(全体版)」を選択いただきますと運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。
- 書面での運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

## ピクテ資源国ソブリン・ファンド (毎月分配型)

追加型投信/海外/債券

第144期(決算日2020年7月15日) 第147期(決算日2020年10月15日)  
第145期(決算日2020年8月17日) 第148期(決算日2020年11月16日)  
第146期(決算日2020年9月15日) 第149期(決算日2020年12月15日)

作成対象期間：2020年6月16日～2020年12月15日

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、「ピクテ資源国ソブリン・ファンド(毎月分配型)」は、このたび、第149期の決算を行いました。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主に資源国の現地通貨建てのソブリン債券および準ソブリン債券に投資し、より優れた分配金原資の獲得と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的としております。

当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

## ピクテ投信投資顧問株式会社

東京都千代田区丸の内2-2-1

お問い合わせ窓口

投資信託営業部

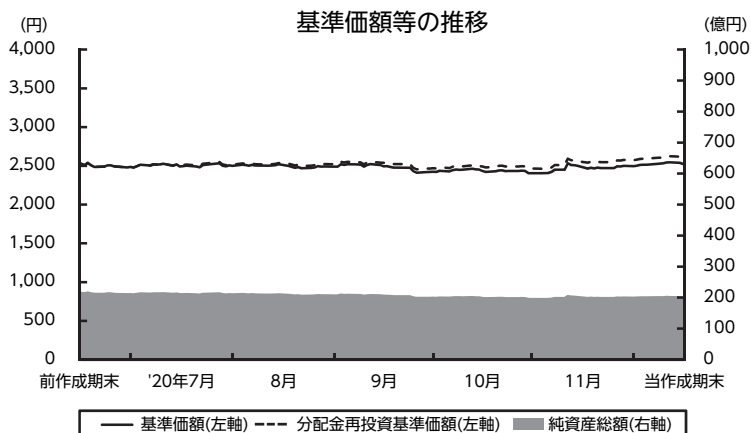
電話番号 03-3212-1805

受付時間：委託者の営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページ：www.pictet.co.jp

# 運用経過

## 基準価額等の推移



第144期首： 2,526円  
第149期末： 2,525円  
(既払分配金 90円)  
騰落率： 3.6%  
(分配金再投資ベース)

- ・分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

## 基準価額の主な変動要因

- 上昇▲ ・実質的に組入れている債券からの利金収入
- 上昇▲ ・円に対してメキシコペソやニュージーランドドルなどが上昇したこと

# 1万口当たりの費用明細

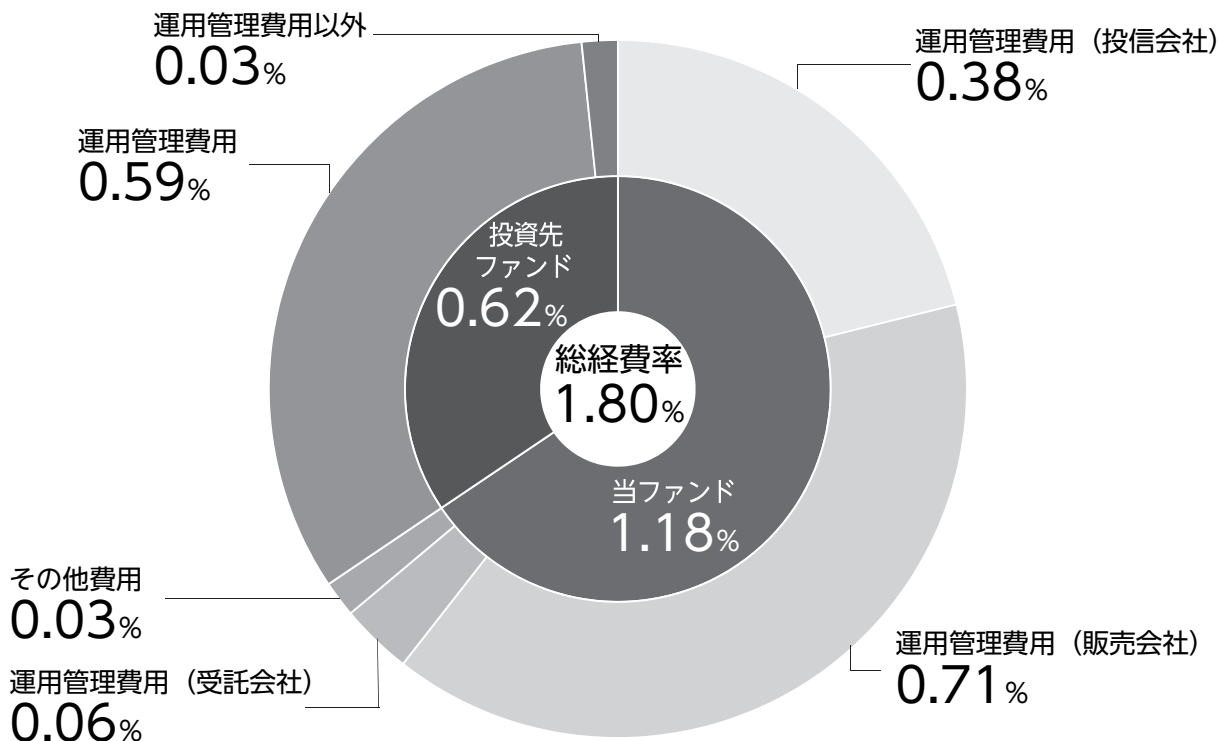
項目	当作成期(第144期~第149期) (2020年6月16日~2020年12月15日)		項目の概要
	金額	比率	
平均基準価額	2,466円	-	作成期中の平均基準価額(月末値の平均値)です。
(a) 信託報酬 (投信会社)	14円 (5)	0.579% (0.193)	(a) 信託報酬=作成期中の平均基準価額×信託報酬率 ・ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、各種情報提供等、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(9)	(0.358)	・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続等の対価
(受託会社)	(1)	(0.028)	・ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.013	(b) その他費用=作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.001)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.012)	・その他は、目論見書、運用報告書等法定の開示書類の作成等に要する費用その他信託事務の処理等に要する諸費用
合計	14	0.592	

- ・上記の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、設定・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- ・各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、各項目毎に小数第3位未満は四捨五入しています。
- ・各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
- ・各金額の円未満は四捨五入しています。

## (参考情報)

### ○総経費率

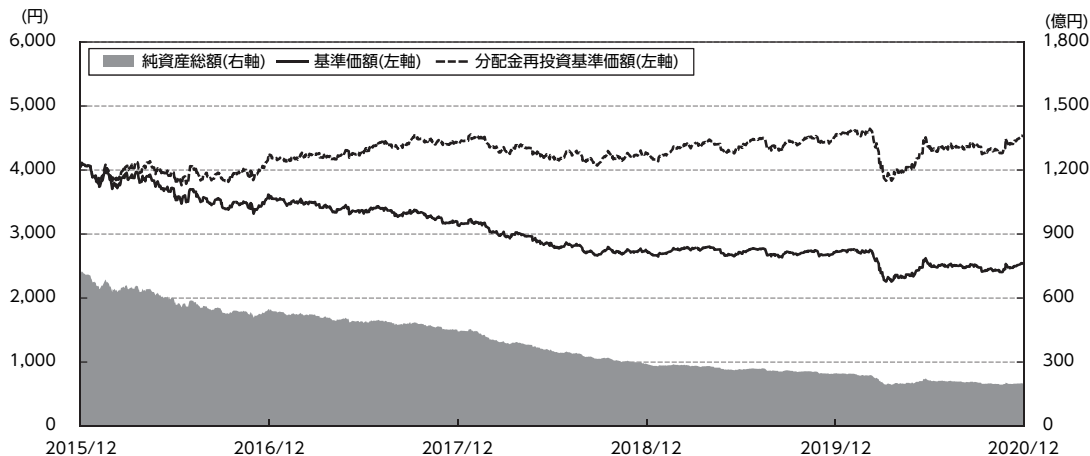
当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.80%**です。



総経費率 (①+②+③)	1.80%
①当ファンドの費用の比率	1.18%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.59%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03%

- ・①の費用は、「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したものです。
- ・各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
- ・各比率は、年率換算した値です。
- ・投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券です。
- ・①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
- ・①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- ・③その他費用の比率が入手できない投資信託証券の場合、②運用管理費用の比率に総経費率を集計しています。
- ・上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移 (2015/12/15～2020/12/15)



- ・分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- ・分配金再投資基準価額は、2015年12月15日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

決算日	2015/12/15	2016/12/15	2017/12/15	2018/12/17	2019/12/16	2020/12/15
基準価額 (円)	4,049	3,555	3,141	2,718	2,714	2,525
期間分配金合計 (税引前、円)	-	600	600	300	180	180
分配金再投資基準価額騰落率	-	3.48%	5.61%	-4.02%	6.67%	-0.02%
純資産総額 (百万円)	71,804	53,888	44,379	28,921	24,633	19,816

- ・分配金再投資基準価額騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定していません。

## 投資環境

- ・資源国のソブリン債券市場は、前作成期末から7月までは、米国の新型コロナウイルス感染再拡大への懸念を背景とした米ドル安の基調や世界的に積極的な金融緩和、財政政策への期待などを受けて概ね上昇（利回りは低下）しました。8月から9月にかけては、一部の新興国で新型コロナウイルス感染拡大懸念が高まったことや、新型コロナウイルス対策を巡る政治的な対立や財政懸念が意識されたことなどから下落（利回りは上昇）しました。10月から作成期末にかけては、中国経済の回復基調を受けた中国向け資源輸出の回復期待などを背景に上昇（利回りは低下）しました。期を通しては、資源国のソブリン債券市場は概ね堅調に推移しました。
- ・為替市場では、前作成期末から8月までは、財政懸念や政治の不透明感が意識された南米通貨を除き、世界景気の底打ちへの期待から資源国通貨は概ね対円で上昇しました。9月から10月にかけては、原油価格が下落したことを受けて、多くの資源国通貨が対円で下落しました。11月から作成期末にかけては、原油価格が回復したことに加えて、米大統領選の不透明感が後退したほか、新型コロナウイルスワクチンの実用化期待などから投資家のリスク選好が高まり、資源国通貨は対円で上昇しました。期を通しては、資源国通貨は景気刺激のために利下げを実施したインドネシアルピアやロシアルーブルなどを除き、資源国通貨は概ね対円で堅調に推移しました。

## 当該投資信託のポートフォリオ

投資信託証券への投資を通じて、主に資源国の現地通貨建てのソブリン債券および準ソブリン債券に投資し、より優れた分配金原資の獲得と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的に運用を行ってまいりました。

投資先ファンド	組入比率		当作成期騰落率
	前作成期末	当作成期末	
PGSF－資源国ソブリン・ファンド	99.0%	99.0%	+4.3%
ピクテ－ショートターム・マネー・マーケットJPY	0.5%	0.6%	-0.1%

・“PGSF”は「ピクテ・グローバル・セレクトション・ファンド」の略称です。以下同じ。騰落率は分配金を再投資したものとして計算しています。

### <PGSF－資源国ソブリン・ファンド>

主に資源国の現地通貨建て（原則として現地通貨建てとしますが、補助的に円・米ドル・ユーロ建てとする場合があります。）のソブリン債券および準ソブリン債券に投資してまいりました。主な組入国は、メキシコ、インドネシア、マレーシア、オーストラリア、ニュージーランドなどとなりました。組入債券の平均格付はA格相当となっております。

### <ピクテ－ショートターム・マネー・マーケットJPY>

短期金融商品等に投資を行い円建てでの高水準の元本の安定性の確保を目指し運用を行ってまいりました。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定していません。

## 分配金

当作成期中の1万口当たり分配金（税引前）は以下のとおりといたしました。

なお、留保益については、元本部分と同一の運用を行います。

### ◆分配金および分配原資の内訳

(単位：円・%、1万口当たり、税引前)

項目	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期
	自 2020年6月16日 至 2020年7月15日	自 2020年7月16日 至 2020年8月17日	自 2020年8月18日 至 2020年9月15日	自 2020年9月16日 至 2020年10月15日	自 2020年10月16日 至 2020年11月16日	自 2020年11月17日 至 2020年12月15日
当期分配金	15	15	15	15	15	15
(対基準価額比率)	0.598	0.597	0.598	0.613	0.605	0.591
当期の収益	13	14	13	13	15	15
当期の収益以外	1	0	1	1	—	—
翌期繰越分配対象額	884	883	882	881	882	883

- ・対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、当ファンドの収益率とは異なります。
- ・「当期の収益」および「当期の収益以外」は小数点以下を切捨てて表示しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。
- ・この様式で示される「当期の収益」は、当ファンドが投資する投資先ファンドからの分配金を受取った場合、実質的に「当期の収益以外」の原資が含まれて表示されることがあります。

# 今後の運用方針

## (1) 投資環境

先進国ソブリン債券市場については、米国では、大統領選挙でのバイデン氏の勝利が事実上確定し、今後の政策に関心がシフトしています。ただ議会は共和党が上院で過半数をうかがう勢いで民主党主導の財政拡大に歯止めがかかる可能性もあります。新型コロナウイルスの感染再拡大の景気への影響が懸念される一方で、ワクチン開発の進展期待は長期金利の上昇要因と見られます。このような状況の中、米連邦準備制度理事会（FRB）の金融緩和姿勢が同金利の上昇を抑制する展開を想定しています。従って米10年国債利回りは、新型コロナウイルスの動向次第ながら、現状水準を中心に変動する展開を想定しています。

欧州では、ユーロ圏の経済指標は景気回復を示唆する指標が減りつつあり、景気回復ペースの減速懸念が強まっています。金融、財政政策への期待が高まる中、欧州中央銀行（ECB）は今後の金融緩和を示唆しており流動性供給が想定されます。一方で、新型コロナウイルスのワクチン開発や財政政策拡大という金利上昇要因もあり、独10年国債利回りは、新型コロナウイルスの動向次第ながら、現状水準を中心に変動する展開を想定しています。

新興国ソブリン債券市場は、相対的に高い利回り水準などが支援材料となる一方、引き続き足元では新型コロナウイルスの世界的な感染拡大も懸念材料となっています。また原油など資源価格の動きにも注意が必要と考えます。その他、米中関係の動向や米国などの金融政策などにも左右される展開となると見ています。

以上のような環境下、資源国のソブリン債券市場についても、短期的には新型コロナウイルスの感染拡大や原油をはじめとした商品市況の動き、新興国の政情不安などに影響を受け、価格変動が大きくなる可能性があると考えます。ただし、中長期的には、新興国における人口増加や経済成長を背景とした資源需要の高まりの恩恵を受け、堅調に推移するものと考えます。

## (2) 投資方針

投資信託証券への投資を通じて、主に資源国の現地通貨建てのソブリン債券および準ソブリン債券に投資し、より優れた分配金原資の獲得と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的に運用を行う方針です。



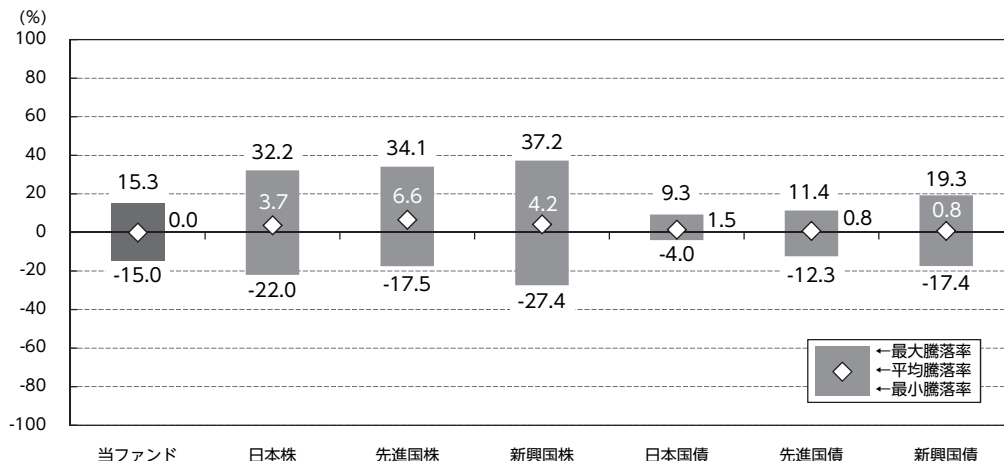
# お知らせ

該当事項はありません。

## 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2008年6月30日（当初設定日）から無期限です。
運用方針	主に投資信託証券に投資を行い、より優れた分配金原資の獲得と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的に運用を行います。
主要投資対象	①ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー資源国ソブリン・ファンド受益証券 ②ピクテ・ショートターム・マネー・マーケットJPY投資証券
運用方法	①投資信託証券への投資を通じて、主に資源国 <sup>注1</sup> の現地通貨建てのソブリン債券および準ソブリン債券 <sup>注2</sup> に投資します <sup>注3</sup> 。 注1 「資源国」とは、エネルギー資源、鉱物資源、食糧・食料資源等の資源を産出する国で、その資源がその国の経済、日本の経済あるいは世界の経済に影響を与えると考えられる国と定義します。 注2 「ソブリン債券」とは、各国の中央政府やそれに準ずる機関が発行する債券の総称です。「準ソブリン債券」とは、各国の中央政府やそれに準ずる機関が株式等資本の過半数を直接・間接的に保有し、実質的に支配している企業が発行する債券とします。 注3 原則として円・米ドル・ユーロを除く現地通貨建てとしますが、補助的に円・米ドル・ユーロ建てのソブリン債券等に投資する場合があります。 ②実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資制限	①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ②投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託の受益証券以外の有価証券への直接投資は行いません。 ③外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、基準価額の水準および市況動向等を勘案して委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。 ③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較 (2015年12月末～2020年11月末)



○上記グラフは、対象期間中の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものであり、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。各資産クラスについては以下の指数に基づき計算しております。

### ○各資産クラスの指標

- 日本株 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
- 先進国株 MSCIコクサイ指数 (税引前配当込み、円換算)
- 新興国株 MSCIエマージング・マーケット指数 (税引前配当込み、円換算)
- 日本国債 NOMURA-BPI国債
- 先進国債 FTSE世界国債指数 (除く日本、円換算)
- 新興国債 JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円換算)

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジをしない投資を想定して、ドルベースの各指数を委託者が円換算しております。

- ・すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率であり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なります。
- ・騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

# 当該投資信託のデータ

## 当該投資信託の組入資産の内容

(2020年12月15日現在)

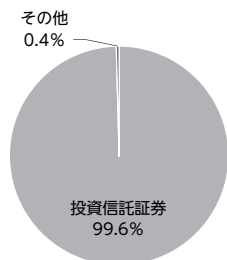
### ■組入ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

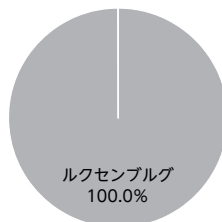
ファンド名	第149期末 2020年12月15日
ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー資源国ソブリン・ファンド	99.0%
ピクテ・ショートターム・マネー・マーケットJPY	0.6%

・比率は当ファンドの純資産総額に対する各ファンドの評価額の割合です。

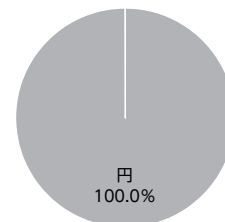
### ■資産別配分



### ■国別配分



### ■通貨別配分



・資産別配分の比率は当ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分および通貨別配分の比率は当ファンドの組入投資信託証券の評価額合計に対する割合です。

## 純資産等

項目	第144期末 2020年7月15日	第145期末 2020年8月17日	第146期末 2020年9月15日	第147期末 2020年10月15日	第148期末 2020年11月16日	第149期末 2020年12月15日
純資産総額	20,936,166,345円	20,716,576,709円	20,415,166,442円	19,736,548,828円	19,709,902,617円	19,816,696,412円
受益権総口数	84,003,318,146口	82,894,510,666口	81,885,336,852口	81,113,538,299口	79,973,893,243口	78,496,238,482口
1万口当たり基準価額	2,492円	2,499円	2,493円	2,433円	2,465円	2,525円

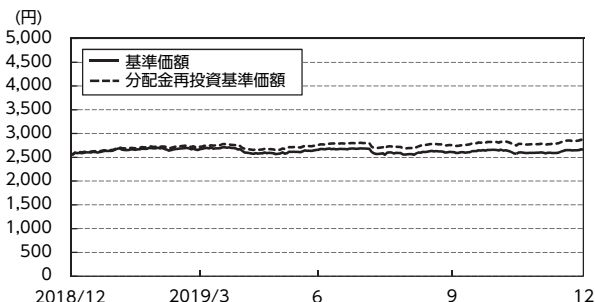
・当作成期中における追加設定元本額は1,040,018,442円、同解約元本額は7,192,567,961円です。

# 組入上位ファンドの概要

## ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー資源国ソブリン・ファンド

(2019年12月31日現在)

### ■基準価額の推移



- ・基準価額の推移は当組入ファンドの直近の計算期間のものであります。
- ・分配金再投資基準価額は、分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

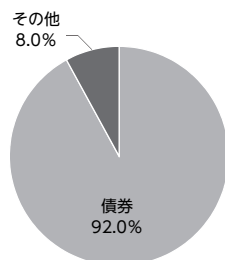
### ■組入上位10銘柄

(組入銘柄数：80銘柄)

	銘柄	比率
1	TBI Mexico CETES 26/03/20 MXN10 -SR-	5.1%
2	8.25% Indonesia 11/32	4.2%
3	4.50% Chile 15/26	4.0%
4	10.00% Brazil 14/25 'F' BRL 1000 -SR-	3.8%
5	5.00% Chile 15/35 -SR-	3.7%
6	7.05% Russia 13/28 -SR-	3.3%
7	10.00% Mexico 06/36 MXN100 -SR-	3.1%
8	3.50% New Zealand 15/33 -SR-	2.8%
9	4.232% Malaysia 11/31 '11'	2.7%
10	7.75% Mexico 14/34 MXN100 -SR-	2.6%

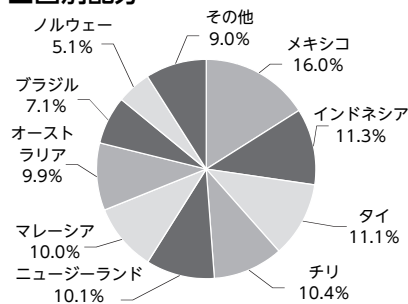
- ・比率は当組入ファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

### ■資産別配分

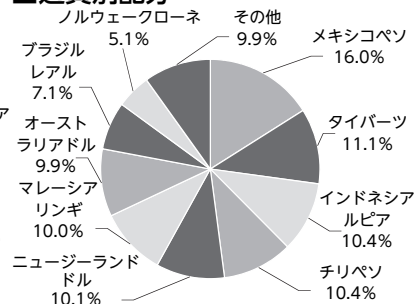


- ・資産別配分の比率は当組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分および通貨別配分の比率は当組入ファンドの組入債券の評価額合計に対する割合です。

### ■国別配分



### ■通貨別配分

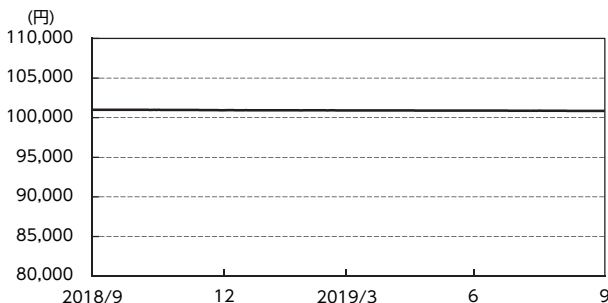


### ■1万口当たりの費用明細

当該情報につきましては開示されていないため、記載することができません。なお、損益計算書については運用報告書（全体版）に記載されています。

(2019年9月30日現在)

■基準価額の推移



・基準価額の推移は当組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

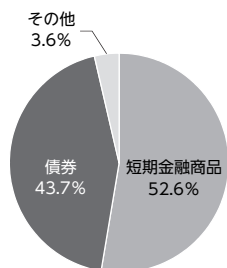
■組入上位10銘柄

(組入銘柄数：69銘柄)

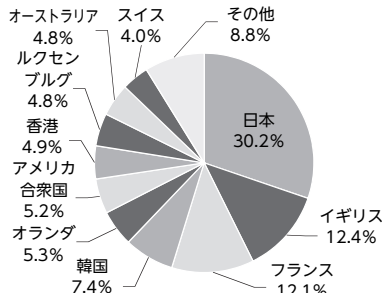
	銘柄	比率
1	TBI JAPAN 09/12/19 '855' -SR-	6.9%
2	TBI JAPAN 16/12/19 '857' -SR-	6.3%
3	TBI JAPAN 23/12/19 '859' -SR-	3.1%
4	TBI JAPAN 05/11/19 S848 -SR-	3.1%
5	0.10% JAPAN 17/19 N° 381 -SR-	3.1%
6	TBI JAPAN 30/09/19 S841 -SR-	3.1%
7	0.292% SVENSKA HANDELSBKORT BANK 15/20 -SR-	2.8%
8	0.46% LLOYDS BANK 14/19 S.6 -SR-	2.8%
9	CD KEB HANA BANK (UK) 07/10/19	2.6%
10	1.125% CARNIVAL 15/19	2.6%

・比率は当組入ファンドの純資産総額に対する割合です。  
 ・全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

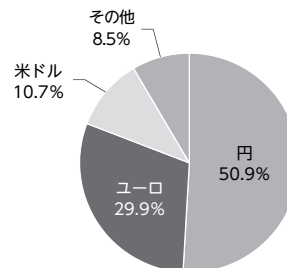
■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分



・資産別配分の比率は当組入ファンドの純資産総額に対する割合、国・地域別配分および通貨別配分の比率は当組入ファンドの組入債券および短期金融商品の評価額合計に対する割合です。

■1万口当たりの費用明細

当該情報につきましては開示されていないため、記載することができません。なお、損益計算書については運用報告書（全体版）に記載されています。

## 指数に関して

---

### ○「代表的な資産クラスと騰落率の比較」に用いた指数について

#### ■東証株価指数（TOPIX）（配当込み）：

東証株価指数（TOPIX）は、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄を対象とし、浮動株ベースの時価総額加重型で算出された指数で、同指数に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社東京証券取引所（以下「東証」といいます。）に帰属します。東証は、同指数の指数値およびそこに含まれるデータの正確性、完全性を保証するものではありません。東証は同指数の算出もしくは公表方法の変更、同指数の算出もしくは公表の停止または同指数の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

#### ■MSCIコクサイ指数（税引前配当込み）：

MSCIコクサイ指数は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

#### ■MSCIエマージング・マーケット指数（税引前配当込み）：

MSCIエマージング・マーケット指数は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

#### ■NOMURA－BPI国債：

NOMURA－BPI国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。同指数の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また同社は同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、当ファンドの運用成果に関して一切責任を負いません。

#### ■FTSE世界国債指数（除く日本）：

FTSE世界国債指数（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券指数です。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

#### ■JPモルガンGBI－EMグローバル・ディバーシファイド：

JPモルガンGBI－EMグローバル・ディバーシファイドは、J.P.Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的な指数です。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。同指数の著作権はJ.P.Morgan Securities LLCに帰属します。